



## 新しい旅立ち

○中学校、301人が卒業

3月12日、市内の3中学校で卒業式が行われ、合わせて301人が母校に別れを告げました。脊振中学校では、21人が卒業一人ひとりに卒業証書が手渡され、代表が「夢に向かって進みます」と決意を述べ、新たな旅立ちをしました。



▲脊振中学校

○小学校は332人巣立つ

3月18日、市内の7小学校で卒業式が行われ、合わせて332人が卒業しました。仁比山小学校では、51人が卒業証書を受け取り、6年間の思い出を振り返りました。式を終えた卒業生たちは、先生や在校生に見送られ、学び舎を後にしました。



▲仁比山小学校（神埼町）

◆小・中学校の入学式

・神埼、千代田町内の各小学校

… 4月8日（木）

・脊振小学校、各中学校

… 4月9日（金）

4月6日から15日までの10日間、「守ろう交通ルール 高めよう交通マナー」をスローガンに「春の交通安全県民運動」が実施されます。子どもたちが危険に巻き込まれないよう、地域みんなで子どもたちの安全・安心を守りましょう。

## まちづくり熱い語り合っ

神埼市で歴史文化遺産を活かしたまちづくり協議会による「かんざき夢資源まちづくりシンポジウム」が3月7日、神埼町の榎田宮境内で開かれました。神舞太鼓の演奏によるオープニングに続き内閣官房地域活性化統合事務局の高村義晴参事官が「宝探しからはじめるまちづくり」のテーマで基調講演、「まちづくりは物語性や、次世代に伝えていく工夫が必要」と強調されました。

その後行われたパネルディスカッションでは高村参事官や市長、地域活動団体代表など6人がパネラーとなり、「水・人・歴史が織りなす神埼のまちづくり」をテーマに、熱心に語り合いました。

## 企業PR活動など方針

市内に事業所がある企業および事業所と、行政や市内教育機関をはじめとする各種団体が互いに連携し、情報の共有、意見



最後に「先人から受継いだ豊かな夢資源である歴史文化・水・食文化・人物・活動などを引き継ぎ、「自然と歴史と人が織り成す市民都市づくり」を行う」ことを宣言しました。

交換、異業種交流などを図る神埼市企業連絡協議会の総会が、2月18日に佐賀健康保養センター「かんざきで開かれました。総会では平成21年度の事業収支報告とともに、10月に福岡で開催される「モノづくりフェア」への参加や、合同会社説明会の開催など平成22年度の活動方針を決めました。また、産学官連携をテーマに九州大学の古川勝彦教授が講演され、それぞれの事業所が抱えられている問題などを、熱心に相談されていました。

## 全国の地域づくり団体集う

地域づくり団体全国研修交流会佐賀大会が、2月5日から2日間行われ、昔から培われてきた相互扶助「もやい」の精神を再認識し、官民協働でのまちおこしについて意見が交わされました。

県内13ヶ所の分科会の1つ、神埼・吉野ヶ里分科会には、青森県や群馬県などから28人が参加。地元のCSOかんざき、吉野ヶ里町のさざんか塾などの市民活動団体約50人と、地域資源に恵まれたこの地で、交流を深めました。



## 郷土の文化向上へ熱い思い

神埼の豊かな歴史と文化を生かして一層の文化向上を図ろうと、2月21日、「かみさきフェスタ」が、神埼市中央公民館で行われました。文化講演会では、弁護士で葉隠



日宋貿易を支えた豊かな地域だったことを強調。人の役に立つべき

という葉隠の精神を紹介しながら、国際的な視点で固定観念を破るエネルギーを生み出してほしいと語りました。



市内の読み語りグループによる郷土の民話の朗読や、児童・生徒の「神埼大好き」ミニ作文の発表・表彰式も行われ、代表して3人の小学生が郷土への思いを発表しました。また、会場外ではイノシシ汁の振る舞いもあり、訪れた人が舌づみを打っていました。

## 九州大会で初優勝飾る

神埼清明高校の女子ハンドボール部は全国高校ハンドボール選抜大会の九州地区予選で優勝し、2月25日に市役所を訪れ、市長に優勝を報告しました。

九州大会で優勝したのは、神埼農業高校時代を通じて初めて、4人以外は高校入学後にハンドボールを始めたということです。が、熱心な練習とチームワークで快挙を成し遂げました。

3月24日から若手県で開催の全国大会に出場しました。



## 「神埼の民話」を発刊



神埼市文化連盟は、かみさきフェスタ事業の一つとして、「神埼の民話」を発行しました。収録しているのは「八天山に天狗がいた」と西郷地区の地名の由来となる「おろち伝説」の2話です。100部を制作し、市内の幼稚園・保育園、小中学校や、市の図書館と分館に配備しました。

また、読み語り活動などに生かしてもらおうと市内11グループにも配布、2月21日に市中央公民館で行われたかみさきフェスタでも朗読されました。

## 県大会優勝、準優勝を報告

第27回佐賀県ミニバスケットボール新人交歓大会で、男子の部で優勝した千代田男子ミニバスケットボールクラブと女子の部で準優勝した神埼女子ミニバスケットボールクラブが、3月10日に市役所を訪れ、市長に報告しました。千代田男子は、初めての優勝を果たし、神埼女子は、決勝戦で延長戦の末、惜しくも1点差で敗れてしまいました。が、通算2度目の準優勝となりました。

選手の皆さんは、「夏の県大会に向けてさらに努力したい」と目を輝かせながら目標を語っていました。



## 地域の安全を守る

神埼市消防団へ日本消防協会から司令車が交付されました。2月21日に神埼市役所で行われた伝達式では、佐賀県消防協会の松隈義彰会長から市長と団長へ交付証とキーが伝達されました。



引き続き、今年度新たに配備された可搬式小型動力ポンプ4台、小型動力ポンプ積載車1台を加え、櫛田宮で入魂式が行なわれ、市長をはじめ消防団や地区役員などの関係者ら約100人が出席し、安全を祈願しました。

配備先は次のとおりです。

【可搬小型動力ポンプ】

第1分団第2部2丁目

第1分団第4部4丁目、西小津ケ里

第2分団第1部出来町、駅ケ里

第3分団第1部小淵、仁比山

【小型動力ポンプ積載車】

第8分団第3部久保山

### 京智千代田学校を訪問

知事が県内の様々な活動の場を訪問する「きつと、もつと、はつと！」が、2月12日、千代田中学校で行われました。



千代田中学校では、第一学年に、複数の先生で授業を行う「チームティーチング」を導入しています。この日は1年1組で、体験的に数学を理解できるように、手作りの教具をふんだんに使った授業が紹介されました。

その後、授業内容などについて懇談会が開かれました。授業を担当した2人から「数字だけでは語れない部分があるが、授業を通して考える、気づける生徒を育てることができるとの報告があり、知事も満足の様子でした。また、保護者からは、「部活や友達の話が多いけど、授業についても家庭で話題にのぼる」と報告がありました。

### 県内一周駅伝大会

第50回記念都市対抗県内一周駅伝大会が、2月19日から21日までの3日間行われ、基山町役場から佐賀新聞社までの全35区間297.9<sup>キロ</sup>で熱戦が展開されました。

初日は、神埼市内がコースの一部になっており、国道385号、264号の沿道では園児や小学生を含め、多くの市民が温かい声援を送りました。選手たちは、タスキをつなぐと力強



くアスファルトを踏みしめ力走しました。

神埼・吉野ケ里チームは総合6位となり、エースの平敏治さん（神埼町）が、5年連続となる優秀選手賞を獲得しました。

### 中国・山西省の中学生来訪

中国の山西大学附属中学校訪日団が2月25日から3日間、神埼市を訪れ、地元中学生などと交流しました。



訪れたのは中学1年生の男子2人、女子5人を含む12人。一行は市長を表敬訪問した後、脊椎クリンセンターを見学。日本の環境に対する意識の高さや施設に高い関心を持った様子で、職員の説明に対し、いくつも質問が出ていました。

2日目は神埼、千代田、脊振の3中学校を訪問し、授業など見学しました。姉妹校になっている脊振中では校歌と合唱で歓迎。中国側からはラテンダンス、胡弓、ピアノ演奏などのほか、絵画や書なども披露され、レベルの高さに驚かされました。

### お年より和やかに交流

ひとり暮らしのお年寄りを招き、市社会福祉協議会主催のお楽しみ会が2月20日、千代田町福祉センターで開かれ、約60人がゲームや演奏などで楽しい一日を過ごしました。

まず、社協職員の指導で手足を動かす体操を行った後、班ごとに輪ゴムをつなぐゲームに挑戦。うまくつなぎ終わると歓声が沸いていました。

午後は、マンドリン演奏、佐賀にわか、民生・児童委員による唱歌、ハーモニカ演奏、舞踊などのアトラクションがあり、和やかな交流が行われました。



このイベントは、これまで旧町村単位で開催していましたが、平成21年度から市全体を対象に行われるようになりました。

### 感勢よく水かけまつり

2月14日、千代田町大島地区に伝わる伝統行事「水かけまつり」が行われました。小雨交じりの寒さの中、締め込み姿の若者がクリークから汲み上げた水をかけ合い、無病息災や五穀豊穡を祈りました。



日が暮れ始めた午後6時ごろから、20人近い若者が二手に分かれて、寒さに耐えながら威勢よく水をかけ合いました。

この行事は、英彦山神社参拜の前に身を清める儀式として、200年以上前から続けられています。

## 水防活動で功労者表彰

平成21年度水防功労者として、市内から小津ヶ里区長の栗山初美さんと神崎市消防団が選ばれ、2月15日、国土交通省筑後川河川事務所表彰式が行われました。

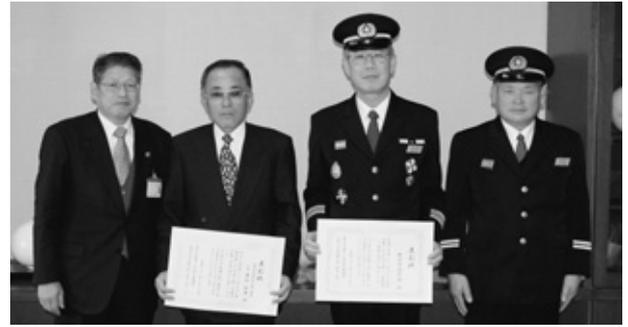
栗山区長は、昨年7月の豪雨災害の際、城原川堤防の漏水箇所を警戒中に発見、関係機関へ通報するとともに、地区住民への連絡など迅速に対応し、被害の拡大防止に努められました。

また、市消防団は、日頃から水防に対する訓練や取り組みに力を入れており、昨年の豪雨時

## 子どもみまもり隊に感謝状

神崎小子どもみまもり隊が、佐賀県の「安全で安心な地域づくりの功労団体」に選ばれました。

みまもり隊は、平成16年度に校区内で児童に対する声かけ事業が頻発したため、PTAの呼びかけで発足し、平成21年度も42人が登録。主に、月曜から金曜までの朝の児童の登校の時間帯に、交通事故防止と不審者等による被害防止を目的として活

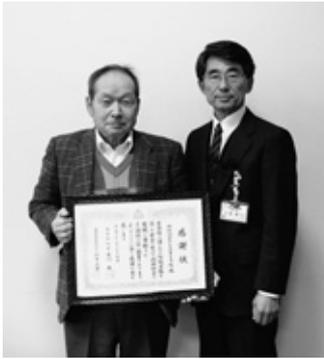


▲左から松本市長、栗山区長、井上団長、久保副団長

にも500人以上の団員が出勤し、現場活動に従事しました。

動を続けられています。

このような地道な活動に対し、2月4日、佐賀市のメイトプラザで行われた「佐賀県地域安全フォーラム」で、知事から感謝状が贈られました。



## 永年の交通安全活動に対し

全日本交通安全協会主催の第50回交通安全全国国民運動中央大会で、市内から「交通安全荣誉章緑十字銀章（交通安全功労者）」として王丸義隆さん（神崎町、写真上）と「優良学校」として仁比山小学校（写真下）が受賞しました。



活動に積極的に取り組まれています。

仁比山小学校は、普段から「交通安全活動の推進」を行い、交通安全教育に熱心に取り組まれています。また、全校を挙げて交通事故の防止に積極的に取り組まれています。



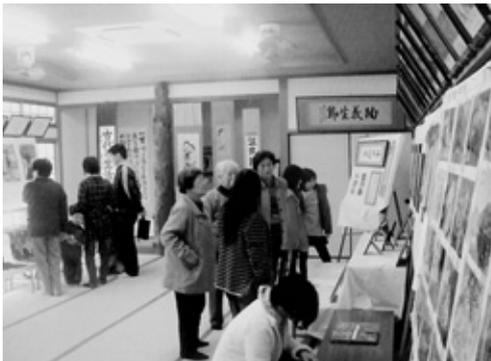
平成21年7月に行われた県の「交通安全子ども自転車大会」で6位に入賞するなど、これまでの交通安全に対する取り組みが評価されました。

## 趣味の作品展

2月27日・28日、城原公民館（神崎町）で第7回城原地区作品展が行われました。

作品展には、3歳から90歳まで地区の住民が出品し、書、絵画、編み物、写真など、90点の力作が並びました。

この作品展は、秋に開催される「きばる祭」とともに地区住民の交流の場となっています。



## 技術生がしボランティア

2月21日、神崎市建設共栄会（小淵日出博会長）と神崎市専門工事会（松田直樹会長）の合同ボランティア活動が西郷小学校で行われました。会員企業の社長ら19人が参加。学校側が希望した踏み台、や棚の製作、各教室の掃除用具ロッカーの修理などを行いました。



子どもたちが気持ちよく使えるようにと、仕上げにかなで面取りをするなど、気配りが随所に見られました。また、使った木材のほとんどが建築廃材をリサイクルしたもので、環境にも留意されました。



# つまみ食い講座 第12弾が終了

第12弾は盛況のうちに終了しました。新しい世界が広がったり、友達が増えたりと、参加された皆さんに楽しんでいただきました。ご自分の特技を生かしたい方、これからサークルを作ろうと思っている方、今のサークルに新しい人をお誘いしたいと考えている方、つまみ食い講座で仲間を集めてみませんか。

神崎市では人材バンクボランティア講師の登録をお願いしています。詳しくは、社会教育課窓口まで。

◎問い合わせ先 神崎市教育委員会 社会教育課 ☎44-2731

## エコクラフトはじめませんか？

見本に持ってこられた先生のバッグをみて「わあ、すてき。作りたい。」とやる気十分。7人の初心者に教える側が4人という恵まれた講座になりました。

4月からサークルとして発足します。第1・3火曜日の午後2時から4時まで。千代田町福祉センターです。今からでも仲間を募集中です。お問い合わせは社会教育課へ。

(講師：堤 紀代子さん・中山佐智子さん、島本シツヨさん、相浦ヒサエさん)



## はじめよう大正琴

大正琴に触るのは初めてという参加者も、久しぶりに大正琴を再開したいという参加者も含めて8人がチャレンジしました。

右手でピックを弾き、左手でボタンを押さえ、数字の楽譜を見て演奏します。指の運動や頭の体操にもとても良いと、水車の里で月2回のサークルを継続することになりました。

(講師：田中弘子さん・野田八恵子さん)



## ふすまの張替え講座



エプロンがけの10人の勇士が、初めてのふすまの張替えを学びました。「はずす前に、ちゃんと印を付けて」「刷毛はこう使って…」先生の実演にしっかり見入ります。いざやってみると「大変、乾いたらしわの寄った！」失敗しながら、その原因を教えていただき、修正の仕方も学ぶことができました。

(講師：平島 平さん)



## 基礎から学ぶパッチワーク

5回で3つの作品ができるとあって、17人という大所帯になりました。初回は黙々と針を運ぶ2時間でしたが、2回目からは会話を楽しみながら、手も動かしながらの和気あいあい。あっという間に時間が過ぎてしまいます。

今後も月2回のサークルを継続します。

(講師：斉藤たづ子さん・高柳秀子さん・仁保以保子さん)

## 脊振のばあちゃんの知恵袋



「大根のどっさりとれたばってん、食べきらん」そんな悩みもこれで解消です。生大根の漬け方、大根しょうゆ漬け、大根酢漬け…大根ばかりでなく、質問は瓜のかす漬けや高菜漬け、梅漬け、らっきょ漬けと広範囲に。「おいしい漬け物があれば、いつお客さんが来ても大丈夫。」と参加者からの声がありました。

(講師：大沢キクエさん・中村悦子さん)



## 行事予定表

日	曜	催物	開演	入場方法	主催
4/4	日	音楽の花束 vol.3 ～うたの楽しさ～	14:00	3,000円 (当日3,500円)	SFC企画 西村 ☎090-8767-0799
4/11	日	炎の会 中山久美子 祝15周年発表会	9:30	無料	中山 ☎0942-96-2861
4/18	日	カラオケ喫茶 希望 第4周年記念歌謡祭	10:00	無料	カラオケ喫茶 希望 松田 ☎0942-62-6296
4/25	日	カラオケ喫茶 ふるふる 10周年チャリティー歌謡ステージ	9:45	無料	カラオケ喫茶 ふるふる 原 ☎44-6074

◎問い合わせ先

千代田文化会館「はんぎーホール」

☎44-2051

休館日 月曜日

千代田文化会館  
「はんぎーホール」